

項目コード	検査項目	検体量(ml)	容器	保存(安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
その他の 4605 4933 4957	淋菌核酸検出 (淋菌同定DNA) 6B610-0000-085-862 6B610-0000-001-862 6B610-0000-079-862	ぬぐい液	101	冷蔵	3~4	204①微生物	TaqMan PCR法	検出せず	次ページ参照 ※06	淋菌感染症 新生児：新生兒結膜炎 男 性：尿道炎 女 性：子宮頸管炎 咽頭炎
		尿4.5	102					検出せず	初尿（男性のみ）同一検体で遺伝子検査以外の項目との重複依頼は避けて下さい ※06	
		うがい液4.5	103					検出せず	次ページ参照 ※06	
5142 4934 4956	クラミジア・トラコマチス核酸検出 (クラミジア・トラコマチス同定DNA) 5E021-0000-085-862 5E021-0000-001-862 5E021-0000-079-862	ぬぐい液	101	冷蔵	3~4	198②微生物	TaqMan PCR法	検出せず	次ページ参照 ※06	クラミジア・トラコマチス感染症 新生児：新生兒結膜炎 男 性：尿道炎 女 性：子宮頸管炎 咽頭炎
		尿4.5	102					検出せず	初尿、同一検体で遺伝子検査以外の項目との重複依頼は避けて下さい ※06	
		うがい液4.5	103					検出せず	次ページ参照 ※06	
4805 4932 4958	淋菌・クラミジア・トラコマチス同時核酸検出 6B615-0000-085-862 6B615-0000-001-862 6B615-0000-079-862	ぬぐい液	101	冷蔵	3~4	278③微生物	TaqMan PCR法	検出せず	次ページ参照 ※06	淋菌感染症 クラミジア・トラコマチス感染症(重複感染)
		尿4.5	102					検出せず	初尿（男性のみ）同一検体で遺伝子検査以外の項目との重複依頼は避けて下さい ※06	
		うがい液4.5	103					検出せず	次ページ参照 ※06	
0650	便中アメーバ検査*	便、肝臓瘍組織	10	37℃保温	2~3	45微生物	顕微鏡検査	認めず		アメーバ性肝臓瘍 腸アメーバ症

① 淋菌核酸検出

ア 区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査「3」の淋菌核酸検出、区分番号「D012」感染症免疫学的検査の「34」淋菌抗原定性又は区分番号「D018」細菌培養同定検査（淋菌感染を疑って実施するもの）を併せて実施した場合は、主なもののみ算定する。

イ 淋菌核酸検出は、DNAプローブ法、LCR法による增幅とEIA法による検出を組み合わせた方法、PCR法による增幅と核酸ハイブリダイゼーション法による検出を組み合わせた方法、SDA法、TMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法による同時検出法又はTRC法による。淋菌核酸検出は、泌尿器、生殖器又は咽頭からの検体（尿検体を含む。）によるものである。なお、SDA法、PCR法による增幅と核酸ハイブリダイゼーション法による検出を組み合わせた方法、TMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法による同時検出法又はTRC法においては咽頭からの検体も算定できる。

② クラミジア・トラコマチス核酸検出

ア 区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査「2」のクラミジア・トラコマチス核酸検出と区分番号「D012」感染症免疫学的検査の「27」クラミジア・トラコマチス抗原定性を併用した場合は、主なもののみ算定する。

イ クラミジア・トラコマチス核酸検出は、PCR法、LCR法、ハイブリッドキャプチャー法若しくはTMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法若しくは核酸ハイブリダイゼーション法による同時検出法、SDA法又はTRC法により、泌尿器、生殖器又は咽頭からの検体により実施した場合に限り算定できる。

③ 淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出

ア 区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査「5」の淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出は、クラミジア・トラコマチス感染症若しくは淋菌感染症が疑われる患者又はクラミジア・トラコマチスと淋菌による重複感染が疑われる患者であって、臨床所見、問診又はその他の検査によつては感染因子の鑑別が困難なものに対して治療法選択のために実施した場合及びクラミジア・トラコマチスと淋菌の重複感染者に対して治療効果判定に実施した場合に算定できる。

ただし、区分番号「D012」感染症免疫学的検査の「34」淋菌抗原定性、同区分「27」のクラミジア・トラコマチス抗原定性、区分番号「D018」細菌培養同定検査（淋菌及びクラミジアによる感染を疑って実施するもの）、本区分「3」の淋菌核酸検出又は「2」のクラミジア・トラコマチス核酸検出を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

イ 区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査「5」の淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出は、TMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法による同時検出法、PCR法による同時増幅法及び核酸ハイブリダイゼーション法による同時検出法、SDA法又はTRC法による。淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出は、泌尿器、生殖器又は咽頭からの検体（尿検体を含む。）によるものである。なお、TMA法による同時増幅法並びにHPA法及びDKA法による同時検出法、SDA法又はPCR法による同時増幅法及び核酸ハイブリダイゼーション法による同時検出法又はTRC法においては咽頭からの検体も算定できる。

*《便中アメーバ検査》

アメーバ栄養型は低温に弱く、時間経過とともに自己崩壊するため、偽足を出して活発に運動している状態を検出するには、検体採取後37℃保存で2時間以内に鏡検する必要がある。

4時間までは微動が確認されるが、それ以降の検出は困難である。

10 便検査用



101 PCR専用容器:ぬぐい液



102 PCR専用容器:尿



103 PCR専用容器:うがい液

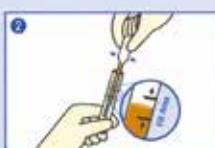


クラミジア・トラコマチス抗原・淋菌抗原 PCR 採取条件・提出条件

性器クラミジア/淋菌 検体の採取方法

CT/NG

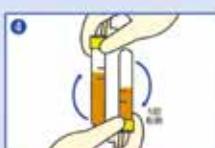
尿



尿検体の採取

尿道溝内細胞に初期を採取します。尿道溝内スポットを置いて、細胞をCobas PCRメディアに含めます。

(注記) 細胞は採取後1～2時間以内にCobas PCRメディアに提出してください。



尿検体の保存

Cobas PCRメディアの蓋をしっかりと閉めてください。

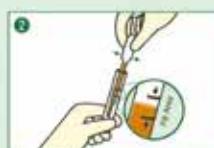
検体採取上の注意

- 細胞はCobas PCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように加えてください。
- 細胞に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られない事があります。
- 細胞は2～20mLで24時間以内にCobas PCRメディアに提出してください。
- 検体を提出したCobas PCRメディアは提出後24時間です。

一般的な注意

- 女性の尿を採取する前は消毒しないでください。
- 月经中の患者からは尿検体を採取しないでください。
- 痢疾の原因となることも月经以上に挿入していることを確認してください。
- Cobas PCRメディアの液体の量は十分に注意してください。
- Cobas PCRメディアは絶対に凍結させないでください。

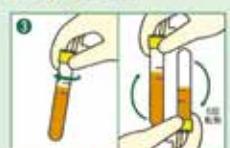
うがい液



うがいの仕方

生理食塩水(約30mL)をコップに15～25mL入れてください。生理食塩水15～20mLを口に含み、舌を上に向かって10～25秒間、勢いよく「ガラガラ」とうがいを行ないます。

(注記) 「ガラガラ」はコップの内側壁(内側壁)に付着された2つのライスの間に吸水あるいは吸水してください。



検体容器の保管

Cobas PCRメディアの蓋をしっかりと閉めてください。
PCRメディアを5日低温蔵とさせてください。

検体採取上の注意

- うがい液はCobas PCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように加えてください。
- 検体に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られない事があります。
- うがい液を採取したCobas PCRメディアは2～20mLで密封して下さい。
- うがい液をCobas PCRメディアに入れない場合は一概で密封してください。検体から10日以内にCobas PCRメディアに入れしてください。

一般的な注意

- 検体採取前の食事：うがい-過度さ-ガムを噛むことなどは避けください。
- Cobas PCRメディアの液体の飛散に十分ご注意ください。
- Cobas PCRメディアは絶対に凍結させないでください。

性器クラミジア/淋菌 検体の採取方法

CT/NG

子宮頸管



子宮頸部の粘液除去

スワブ検体採取セット付属の粘液除去用ドライスワブで子宮頸管とその周辺の過剰な粘液を充分拭き取ります。

(注記) 手洗いを終ったスワブは廃棄します。



子宮頸管検体の保存

Cobas PCRメディアのキャップを開けます。採取したスワブをCobas PCRメディアキャップに入れた後に付けられた黒い紐を容器の縁に合わせます。

検体採取上の注意

- Cobas PCRスワブ検体採取セット付属の検体採取スワブ以外は使用しないでください。
- 検体に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られない事があります。
- Cobas PCRメディアには検体を採取したスワブのみ入れてください。
- スワブを除去したCobas PCRメディアは一概で密封してください。

一般的な注意

- 子宮頸管検体採取する前にスワブをCobas PCRメディアに浸さないでください。
- Cobas PCRメディアの液体の飛散に十分ご注意ください。
- 検体を採取したスワブをやわらかくCobas PCRメディアに入れてください。
- Cobas PCRメディアは絶対に凍結しないでください。

検体採取容器

子宮頸管



尿

うがい液

